

学校の教育目標		人間尊重の精神を基盤とし、希望に満ちた社会をめざす健康で明るく、知性ある人間を育成する。 1. 思いやりのある生徒・思考力 2. 自主性のある生徒・行動力 3. 協力する生徒・人間力		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動			
目指す学校像(ビジョン)				1「誰一人取り残さない学校」を目指し、不登校対策室（ステップルーム）、サポートルーム等の特別支援教育を充実させるとともに、一人一台端末を活用した個に応じ指導の充実を目指す。 2「考える力」の育成を目指し、授業規律や授業スタンダード等について研修を重ねる。また、学校図書館を活用した学習情報センターとしての機能を充実させ、これからの時代に必要な資質・能力を育成する。また、市民ボランティア等の協力を仰ぎ、生徒の学校生活の充実を図る。 3安全、安心、安定して学べる学校作りのため、心得「あ（挨拶）・じ（時間）・み（身だしなみ）・こ（言葉遣い）・し（姿勢）」を教育活動の基盤とし、生徒会活動が主体的に自治活動を取り組み、「一人一人が輝く三中」を目指す。保護者や地域を巻き込んだ取組を取り入れ、より多くの考えや意見に触れることを通して視野を広げさせ、他と共に学ぶことのよさを体感させる。			
【目指す学校像】							
【目指す児童・生徒像】							
【目指す教師像】							
前年度までの学校経営上の成果と課題							
<成果>昨年度は、新型コロナウイルスの五類となり、授業や学校行事等の教育活動が制限なく実施できた。特に、運動会や合唱コンクール、宿泊行事等の体験的活動で達成感、成就感を味わうことができ、自己肯定感、自己有用感を高めることができた。また、知的特別支援学級の開級に伴い、特別支援教育の充実のため、校内研修、校内委員会を実施し、個々の教育的ニーズにあった支援方法を深めることができた。 <課題>落ち着いた学校生活や授業規律に課題があり、基礎学力の定着へと結びついていない現状がある。また、ICTを活用した個に応じた指導や家庭学習の定着、学校図書館を活用した授業や取り組みが不十分であり、生徒一人一人のよさや能力を伸ばす教育に取り組んでいるが保護者への理解も含め課題がある							
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)		成果指標(評価基準)	
確かな学力の向上	小中連携を通して、基礎学力の定着と「考える力」の育成に向けて授業改善を推進する。	・規律のある授業と個に応じた指導により学びに向かう力の向上を図る。 ・「考えさせる」授業力向上に向けて小中で連携を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・学校図書館を活用した学びの充実及び読書時間、貸出数の増加	・教科の特性に応じたICT機器の活用。 ・長期休業中、放課後、定期考査前の補習学習の実施。 ・校内研修により「授業スタンダード」の定着。 ・図書館推進委員、図書館支援員を中心に読書活動の推進を進める。	4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
				4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
豊かな心の育成	道徳教育を充実させ、人権尊重、規範意識などの醸成とともに自他の命の大切さを互いに認め合える生徒を育成する。	・教育活動全般で道徳教育を実施する。特に「命」の教育の充実を図る。 ・心得「あ・じ・み・こ・し」を基本的生活習慣の確立の基盤とし、いじめの未然防止、早期発見の強化を図る。	・「考え、議論する道徳」の実施。 ・各教科の中で人権に関わる内容を意識的に取り上げ、自他を尊重する意識を向上させる。 ・年間6回のふれあいアンケートの実施により教育相談を充実させ、いじめの未然防止、早期発見に努める。 ・アセスの活用した人間力の育成を図る。	4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
				4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
健やかな体の育成	体力向上と生活習慣の確立を図る。	・体育的行事、部活動、保健体育の授業の充実による体力・技術の向上。 ・安全や健康、食についての意識を高め、自ら改善しようとする態度を育む。	・保健体育の授業での30分間水泳、12分間持久走。 ・準備運動の工夫による体力向上。 ・毎月、保健だよりを発行し、健康について啓発する。 ・委員会活動(昼の放送、食育講話)で食育教育の充実を図る。	4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
				4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
特別支援教育の充実	ユニバーサルデザインの考え方にに基づき教室環境の整備や授業改善を推進してすべての生徒に学ぶ楽しさを味わわせる。	・特別な支援を様子生徒の支援方法の検討、共有し学習指導、支援に努める。 ・登校しがり、不登校生徒に登校を促す支援方法の検討し、安心して学ぶ場の提供を図る。	・特別支援校内委員会を充実させ、UDの視点を取り入れた個に応じた指導・支援を行う。 ・特別支援教育推進委員会を中心に登校しがりの早期発見と対応についてステップルームを活用し、教室復帰を目標とした個別支援を行う。	4	情報共有を年間6回実施	4	教職員の達成度の評価A
				3	情報共有を年間5回実施	3	教職員の達成度の評価B
				2	情報共有を年間4回実施	2	教職員の達成度の評価C
				1	情報共有を年間3回実施	1	教職員の達成度の評価D
				4	情報共有を年間6回実施	4	教職員の達成度の評価A
				3	情報共有を年間5回実施	3	教職員の達成度の評価B
				2	情報共有を年間4回実施	2	教職員の達成度の評価C
				1	情報共有を年間3回実施	1	教職員の達成度の評価D
本校の特色	清瀬愛を育むために地域と協働した学校づくりを目指す。	・地域人材の活用、地域行事の積極的な参加を通して地域の一員としての自覚を持った生徒を育成する。 学校の情報を地域・保護者へ積極的に発信し、教育活動への参画意識を促す。	・きよせらボのよる命の講話 ・清瀬空手道連盟から講師派遣による授業 ・地域のイベント、お祭り、青少協行事へのボランティア参加。 ・学校ホームページ更新と閲覧助教の確認。 ・学校行事、学校便り、学年・学級便り等のHome&Schoolの活用による情報発信の強化。	4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満
				4	教員の肯定的評価が90%以上	4	保護者の肯定的評価が80%以上
				3	〃 80%以上	3	〃 70%以上
				2	〃 60%以上	2	〃 60%以上
				1	〃 60%未満	1	〃 60%未満